

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	地域と連携した学校づくり	施策No	04-09	部課名	教育委員会事務局指導室
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課	課長名	塩尻	内線	3380
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市		
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的	地域社会に開かれた学校づくりを進め、地域と一体となった学校教育を推進していく。
----	---

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
	①	親子コミュニケーションの充実度	4.11	4.08	4.07	親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？		
	②	子育て・教育環境の満足度	3.55	3.55	3.50	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？		
	③	地域の子育てへの理解・協力	3.57	3.46	3.52	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？		
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)	
	①	地域と協力してより良い学校を作っていると感じる保護者	69.4	70.2	69.9	70.4	80.0	小・中「学校関係者評価」(%)
	②							
	③							
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
行政費用	給与関係費		5,894	6,126	232	行政収入	地方税等		0	0	0
	物件費		11,916	12,202	286		国庫支出金		0	0	0
	維持補修費		0	0	0		都支出金		0	0	0
	扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
	補助費等		8,324	7,942	▲ 382		使用料及び手数料		0	0	0
	減価償却費		0	0	0		その他		294	333	39
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		294	333	39
	賞与・退職給与引当金繰入額		1,371	1,895	524		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 27,211	▲ 27,832	▲ 621
	その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)		0	0	0
	行政費用合計(b)		27,505	28,165	660		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 27,211	▲ 27,832	▲ 621
特別費用	特別費用(g)		0	0	0	特別収入	特別収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0		当期収支差額(e)+(h)		▲ 27,211	▲ 27,832	▲ 621
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	流動負債	勘定科目		6年度	7年度	差額
	流動資産						還付未済金		0	0	0
	収入未済		0	0	0		特別区債		0	0	0
	不納欠損引当金		0	0	0		賞与引当金		221	228	7
	その他の流動資産		0	0	0		その他の流動負債		0	0	0
	有形固定資産		0	0	0		固定負債		3,216	3,550	334
	土地		0	0	0		特別区債		0	0	0
	建物		0	0	0		退職給与引当金		3,216	3,550	334
	建物減価償却累計額		0	0	0		その他の固定負債		0	0	0
固定資産	工作物等		0	0	0	負債の部合計	正味財産		▲ 3,437	▲ 3,778	▲ 341
	工作物等減価償却累計額		0	0	0		正味財産の部合計		▲ 3,437	▲ 3,778	▲ 341
	無形固定資産		0	0	0		負債及び正味財産の部合計		0	0	0
	建設仮勘定		0	0	0						
	その他の固定資産		0	0	0						
資産の部合計			0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用としては物件費の割合が高くなっており、主に学校パワーアップ事業（未来を拓く子どもの育成）における需用費や使用料等が占めている。給与関係費及び賞与・退職給与引当金繰入額は、人事異動・業務分担の見直しによる職員体制の変更により、差額が生じている。補助費等は、主に学校パワーアップ事業（未来を拓く子どもの育成）における報償費が占めている。その他の収入は体験学習の参加者負担金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○学校の授業や教育活動について、保護者や地域に理解・啓発できるよう、区立小中学校を一斉に公開する期間を設けている。 ○学校だよりやホームページ等を活用し学校から地域に情報発信している。 ○地域の声を反映した学校運営を推進し、学校と地域との一層の連携を図るために、学校評議員制度を実施している。また大学等と連携した学校評価を実施している。 ○各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間等において、専門的な技能や知識、経験を有する地域の方々から「専門的な講話」、「体験談」、「専門的技能の実演」、「体験的な学習」等の支援をいただいている学校がある。
課題	○学校運営や教育内容等について、学校の意図的・計画的な取組を理解していただくとともに、保護者や地域の意向を的確に把握する必要がある。 ○ホームページを定期的に更新するとともに、内容などを工夫し、学校から積極的に地域に情報発信をする必要がある。 ○学校評議員会の適切な人材確保、協議内容の質の維持・向上を図る必要がある。 ○専門的な技能や知識、経験を有する地域の方々などの視点を生かした教育を展開し、地域と連携した活動を充実させる取組を区内の多くの学校へ広めていくことを継続する。
今後の方向性	○区立小中学校が保護者や地域住民の意向も踏まえつつ、生きる力を育む知・徳・体をバランスよく育てる教育活動を推進していく。 ○学校行事等のお知らせや、学校での取組等を地域の掲示板や区のホームページを活用し周知する等の連携に努める。 ○学校評議員会制度から、コミュニティ・スクール（CS・学校運営協議会制度）への発展を視野に入れたモデル校での試行等、CS導入に向けた取組を行う。 ○地域の方々と触れ合い、講話を聞くことや、体験することにより、子どもたちの郷土や地域社会に対する興味や関心を高め、各学校における地域に根ざした特色ある教育活動の充実を図る。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	保護者や地域に対する説明責任を果たすとともに、学校経営の透明性と信頼性の向上を目指すことにより、地域に開かれた学校づくりを重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
P T A 活動支援	13-01-17	3,378	4,303	67	289	推進	推進	保護者・教師・地域が連携して子どもの健全育成を図るために、PTA活動の支援を推進する。
学校関係者評価(学校評議員制度、学校評価制度)	13-04-01	3,400	3,081	1,288	1,303	継続	継続	地域住民の信頼に応え、開かれた学校づくりを継続する。
学校パワーアップ事業(未来を拓く子どもの育成)	13-04-27	20,735	20,779	19,019	18,676	重点的に推進	重点的に推進	各学校・幼稚園・こども園が学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業を展開するよう促す。
合 計		27,513	28,163	20,374	20,268			